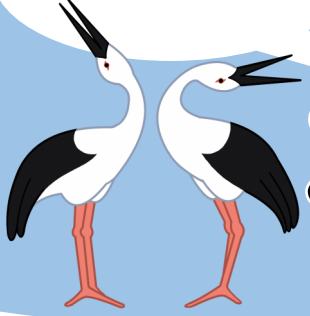


コウノトリ



毎週月曜日更新

カタカタ通信

第188号

「針子からミニチュアへ！」

2025年8月4日

生きものコーナーで展示しているミナミメダカ。天空の里では、5月ごろから産卵が始まりました。暖かくなつてからは、数日おきにメスのおしりに卵が束になってくっついていきます。



気配を察したのか、草陰に隠れる親メダカ…。



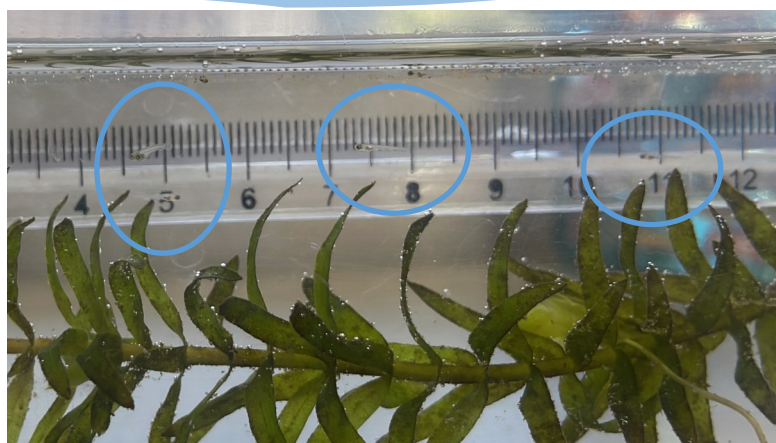
採取した時期別に並べています

それから水槽内を縫って泳ぎながら、手ごろな水草に産み付けていきます。無事に大きくなってね～と言いたいところですが、メダカは雑食の魚です。そのまま同じ水槽にいとておくと、卵や稚魚が親や他のメダカに食べられてしまうことがあります。メダカの親は産み付けたら、もう卵には無頓着です。別の容器に移して卵を見守ります。ふ化した時期で容器を分けているので、経過を並べてみましょう。



ふ化後5日ほどの針子

2週間ほどでふ化した稚魚は「針子（はりこ）」と呼ばれるくらいとっても細くて小さいです。色もほとんどなく、体の中も透けて見えます。体長は3mmから5mmほどのようでした。



ちょっと見づらいですが、大きくなっています

ふ化から2週間ほど経過した稚魚たち。

7～8 mm ほどです。この頃には素早く動き回るようになってきました。まだ体は透けていて、気を抜くと見失います。



見えるサイズのミニチュアメダカになりました！

ふ化からちょうど1か月を迎えた稚魚たち。

1 cm を超え、もうおとなのメダカと同じ姿をしています。もうしっかり居場所がわかります。

メダカは約3か月で成魚（おとな）になります。ミナミメダカの全長は3～4 cm ほど。1か月を迎えた稚魚たちも、あと3倍大きくなるはず！これからも成長を見守っていきます。展示にも時々登場するかも？？そのときは、ぜひ虫めがねも使って観察してみてくださいね！

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

飼育担当：寺内